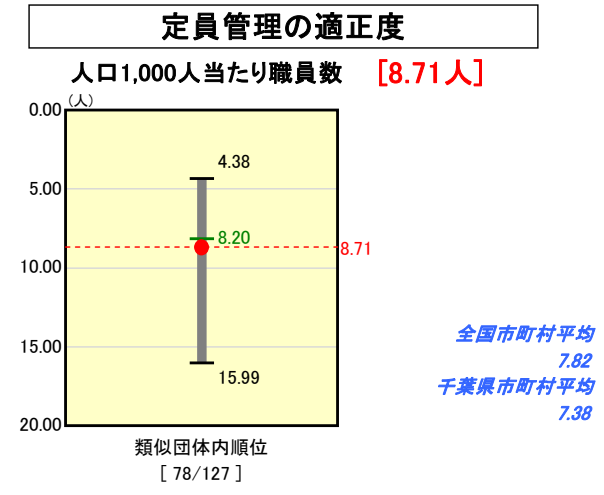
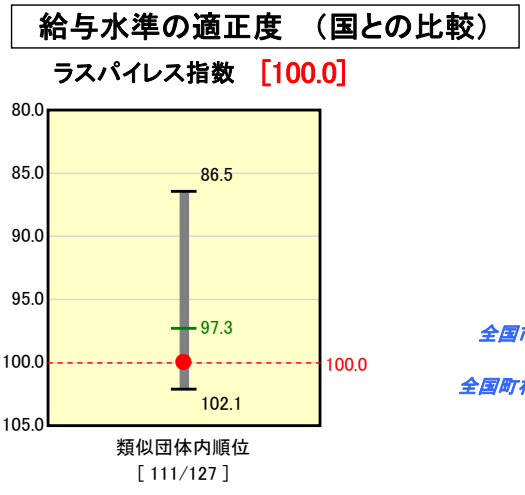
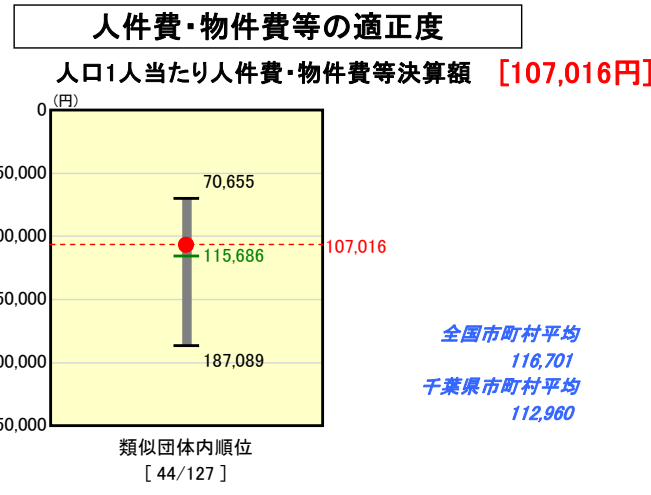
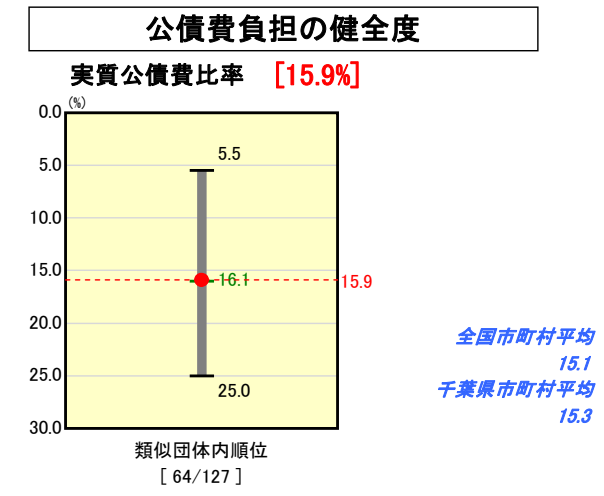
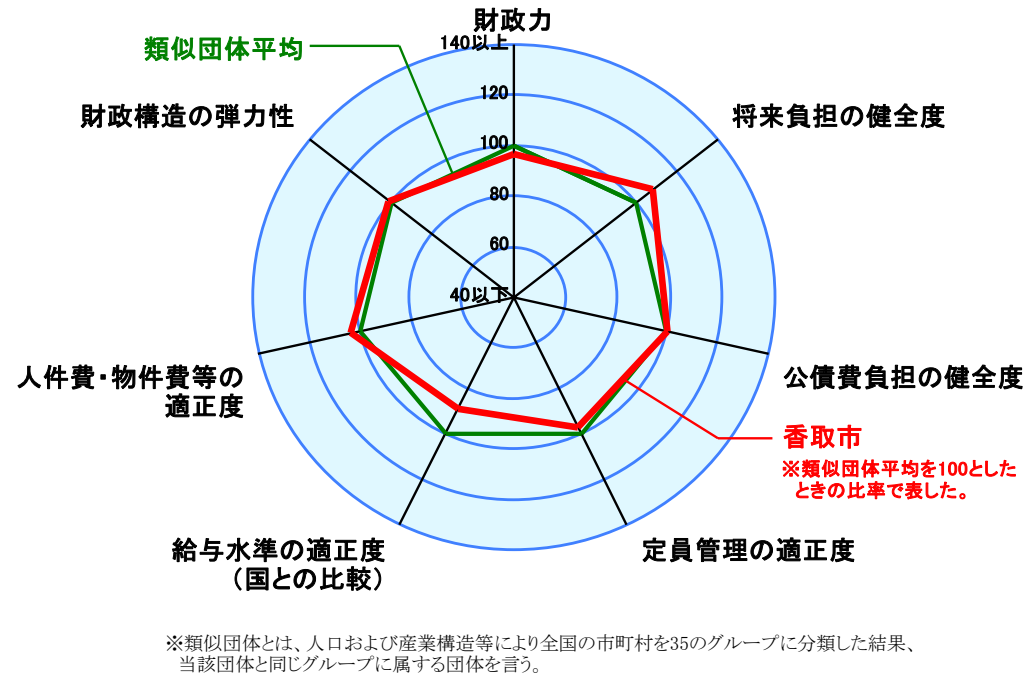
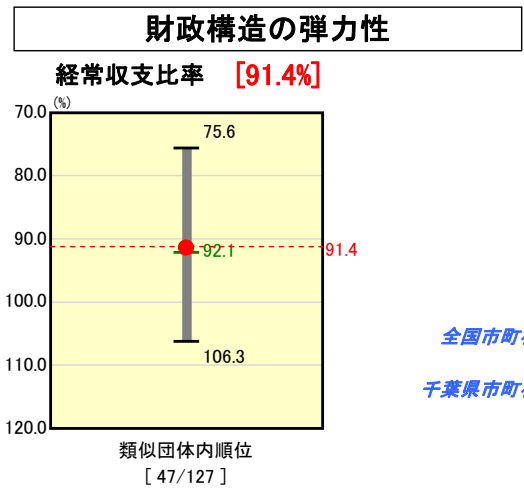
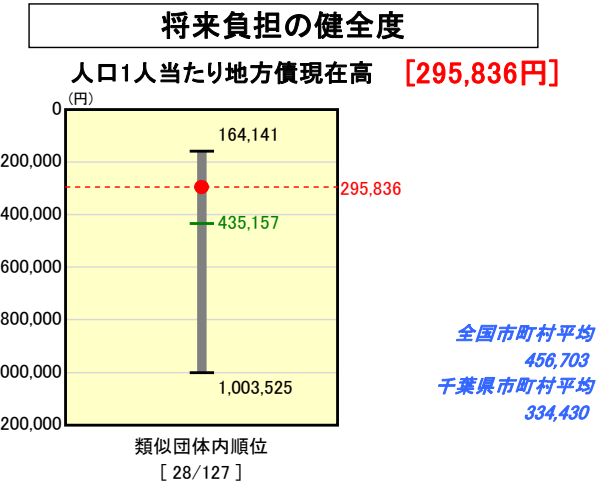
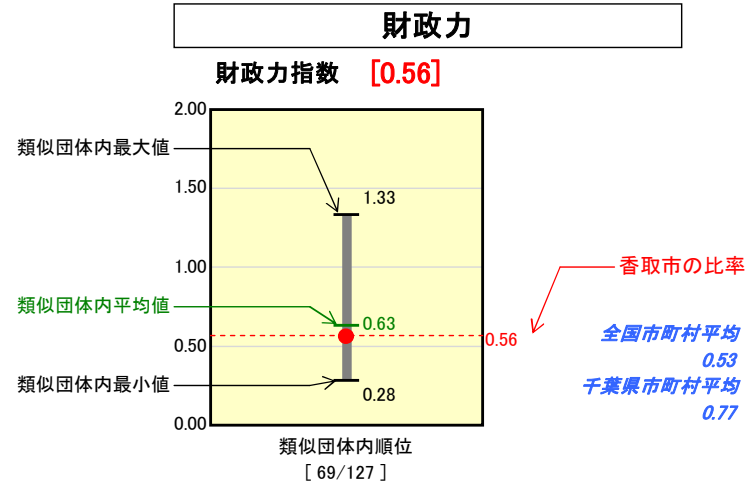


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 香取市

人口	87,837人	(H19.3.31現在)
面積	262.31	km ²
歳入総額	27,375,704	千円
歳出総額	26,481,576	千円
実質収支	839,260	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 昨年度の0.54から0.56に若干ではあるが増加している。主な要因は、合併による基準財政需要額の減である。財政基盤の強化に向けて、平成19年3月策定の集中改革プランを着実に実行し、定員管理の適正化(7年間で△13.1%減)や市税の徴収率向上に努める。

経常収支比率: 昨年度と比較して1.5%増の91.4%となった要因は、合併による市・町の行政権能の違いから生活保護費を含む扶助費が大幅に増加したことによる経常経費を2.1%押し上げた。人件費の削減、一部事務組合の同業種における組合統合等による補助費等の削減を進め、経常経費の削減を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 全国市町村平均、千葉県市町村平均、類似団体平均を下回っている要因は、ごみ処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費・物件費等に充当する負担金を合計した場合、人口1人当たりの金額は、大幅に増加することから、一部事務組合を含む経費の抑制を図る必要がある。

ラスパイレース指数: 全国市平均、全国町村平均、類似団体平均を上回っている。集中改革プランの推進と合併による効率的な組織体制を構築しながら、平成20年度からは、各種手当の見直しを行い、給与の適正化に努める。

人口1人当たりの地方債現在高: 全国市町村平均、千葉県市町村平均、類似団体平均を下回っている。今後も、合併団体として、合併特例債事業を活用した整備事業を実施していく過程で、過剰な債務増加にならないよう将来負担の健全化を前提に、適正な財政運営に努める。

実質公債費比率: 昨年度の16.2%から15.9%に若干ではあるが、改善が図られたところである。香取市総合計画のもと、緊急度、住民ニーズを的確に把握しながら、計画的な施設整備に努める。また、類似団体が普通会計で実施している、ごみ処理業務や消防業務などの施設整備が実質公債費比率に含まれることから、一部事務組合の整備事業及び公営事業の整備計画を含め、今後の、起債残高及び償還額が過度とならないよう財政の健全化を図る。

人口1,000人当たり職員数: 昨年度の8.98人から8.71人と着実に職員数は減少しているが、全国市町村平均、千葉県市町村平均、類似団体平均を上回っていることから、早急な合併効果を見出すため、引き続き、効率的な組織体制を構築及び民間委託の推進等により、集中改革プラン(平成18年度～24年度)の定員適正化計画(平成18年度職員数921人→平成25年度職員数800人、121人減)の達成を目指す。